



## Storage VM

ディザスタリカバリ保護関係を監視しています  
Active IQ Unified Manager 9.11

NetApp  
October 16, 2025

# 目次

Storage VM ディザスタリカバリ保護関係を監視しています .....	1
カンケイヘエシヨウシタ Storage VM ノカンシ .....	1
Storage VM ページで保護関係を表示します .....	2
保護ステータスに基づいた Storage VM の表示 .....	2

# Storage VM ディザスタリカバリ保護関係を監視しています

Active IQ Unified Manager では、Storage VM ディザスタリカバリ関係の監視がサポートされており、ディザスタリカバリは Storage VM レベルできめ細かく実行できます。Storage VM ディザスタリカバリを使用すると、Storage VM のコンスチュエントボリュームに存在するデータをリカバリしたり、Storage VM の設定をリカバリしたりできます。

非同期のディザスタリカバリを実現するために、ソース Storage VM からデスティネーション Storage VM への Storage VM DR 関係が作成されます。クラスタのセットアップに基づいて、データボリュームと一緒に Storage VM の設定をすべてレプリケートするか一部だけ（ネットワークとプロトコルの設定を除く）レプリケートするかを選択できます。

Storage VM ディザスタリカバリ関係の設定後、ハードウェア障害や環境障害が原因でソース Storage VM が使用できなくなったときに、デスティネーション Storage VM が起動し、最小限のシステム停止でデータへのアクセスが提供されます。同様に、ソース Storage VM が使用可能になると、デスティネーション Storage VM と再同期され、ソースからデータの提供が再開されます。SnapMirror コマンドを使用して、Storage VM ディザスタリカバリ関係を設定および管理できます。

## カンケイヘエシヨウシヨウシタ Storage VM ノカンシ

Storage VM ディザスタリカバリ関係は、インベントリの保護セクションにある関係ページで監視できます。デフォルトでは、関係ページには、コンスチュエント関係のフィルタが適用されたときの最上位の関係だけが表示されます。

- 必要なもの \*

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

フィルタを使用して Storage VM ディザスタリカバリ関係を表示します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、\* protection \* > \* Relationships \*（保護 \* > \* 関係 \*）をクリックします。

ボリューム、整合性グループ、Storage VM 関係のすべてのタイプの関係が表示されます。

2. フィルタ \* をクリックし、\* 関係オブジェクトタイプ \* および \* Storage VM \* を選択して、Storage VM のディザスタリカバリ関係のみを表示します。
3. [ フィルタを適用（Apply Filter） ] をクリックする。



保護関係をすべて表示するには、コンスチュエント関係のフィルタをクリアする必要があります。

Storage VM ディザスタリカバリ関係のみが表示されます。

## Storage VM ページで保護関係を表示します

Storage VMS ページを使用して、既存の Storage VM の災害復旧関係のステータスを表示できます。

- 必要なもの \*

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

転送と遅延のステータス、ソース、デスティネーションの詳細など、保護関係の詳細も確認できます。レポートのスケジュールを設定したり、必要な形式で既存のレポートをダウンロードしたりできます。[\* 表示 / 非表示 \* (Show/Hide \*)] ボタンを使用すると、デフォルトでは表示されないように、必要な列をレポートに追加できます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、\* storage \* > \* Storage VM\* をクリックします。
2. \* VIEW \* メニューから \* Relationship \* > \* All Relationships \* を選択します。

設定されているすべての Storage VM について、「関係：すべての関係」ビューが表示されます。

## 保護ステータスに基づいた Storage VM の表示

インベントリの Storage VM ページを使用して Active IQ Unified Manager 内のすべての Storage VM を表示し、保護ステータスに基づいて Storage VM をフィルタリングできます。

- 必要なもの \*

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

Storage VM ビューに Protection Role という新しい列が追加され、Storage VM が保護されているか保護されていないかを示す情報が表示されます。



ソースクラスタが Active IQ Unified Manager に追加されていない場合、そのクラスタに関連するすべての情報がグリッドで使用できなくなります。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、\* storage \* > \* Storage VM\* をクリックします。
2. view \* メニューから \* Health \* > \* All Storage VM\* を選択します。

Health : All Storage VM が表示されます。

3. 「\* Filter \*」をクリックして、次のいずれかの Storage VM を表示します。

をクリックしてください	フィルタ値
• 保護された Storage VM*	• 保護役割 * は保護されています *

をクリックしてください	フィルタ値
• 保護されていない Storage VM *	• 保護ロール * は保護されていません *



保護されている Storage VM と保護されていない Storage VM の両方を同時に表示することはできません。新しいフィルタオプションを再適用するには、既存のフィルタをクリアする必要があります。

4. [ フィルタを適用 ( Apply Filter ) ] をクリックする。

保存されていないビューには、選択したフィルタに基づいて、Storage VM ディザスタリカバリで保護されているか保護されていないすべての Storage VM が表示されます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。